

日米貿易交渉で米・大豆・トウモロコシ・ジャガイモ等の農産物の輸入拡大に反対する請願

石破 茂 内閣総理大臣 殿
江藤 拓 農林水産大臣 殿

米国トランプ政権の一方的な追加関税要求に対して、日米交渉が進められています。そもそも、この要求は WTO 協定や日米貿易協定の約束を無視した不当なものです。不当な要求には応じず、各国と共同して米国に政策の変更を求めるべきです。

私たちは、この交渉において、農産物を取引材料として米国に差し出すとともに、食の安全等に関わる基準が非関税障壁として大幅緩和されるのではないかと、強く懸念しています。

米国は米などの輸入拡大を求めています。米は私たちの主食であり、自給可能な穀物です。「令和の米騒動」を経て、国民世論は輸入を増やすのではなく、国内での増産をはかるべきとの声が圧倒的です。とりわけ、主食である米の問題は食料主権にかかわることであり、これ以上の輸入拡大は認められません。自給率の低いトウモロコシや大豆は増産に努めている最中であり、取引材料にすべきではありません。生食用のジャガイモをはじめ牛肉や豚肉などの大量輸入は、国内生産に壊滅的な打撃を与えることになります。

【請願項目】

一、私たちは、アメリカとの関税交渉において農産物の輸入拡大を行わないよう政府に強く要望します。

氏 名	住 所
	都・道 府・県
	都・道 府・県
	都・道 府・県
	都・道 府・県
	都・道 府・県